

[138]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7393733>

出版情報：語文研究. 138, 2024-12-24. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



学会彙報

▼令和六年度 九州大学国語国文学会

於 九州大学伊都キャンパス

イースト1号館 A-1117教室

二〇二四年六月一日(土)

〔研究発表〕

加賀掾浄瑠璃における「怨霊事」

賈 思 敏

「続・雅俗繚乱」展の見どころ

川 平 敏 文

「たび(度)」の史的考察

藤 田 優 子

長崎県五島列島方言の「ザマニ」

門 屋 飛 央

『源氏物語』における末摘花の造形と常陸太守

蓑 津 碧

〔講演〕

光る国へ

松 本 常 彦

▼第七十四回 西日本国語国文学会

於 鹿児島県立短期大学

二〇二四年九月七日(土)～九月八日(日)

〔シンポジウム〕

薩摩と琉球をつなぐ島嶼の文芸・語学・歴史

亀 井 森

松 尾 弘 徳

荻 野 千 砂 子

〔研究発表〕

星巖詩の典拠考——作詩の材料について——

王 自 強

小原大丈軒『白木翁物語』の諸問題

中 山 成 一

(九州大学関係者のみ)

▼受贈図書(二〇二四年三月～二〇二四年九月)

古典の再生 The Revival of the Classics 盛 田 帝 子

江戸の王朝文化復興——ホノルル美術館所蔵レイン文庫『十

番虫合絵巻』を読む——

盛 田 帝 子・松 本 大・飯 倉 洋 一

本 かたちと文化——古典籍・近代文献の見方・楽しみ方——

国文学研究資料館

七夕伝説の謎を解く

勝 俣 隆

近世長崎渡米人文運史―言語接触と文化交流の諸相―

若木 太一

武士の道徳学―徳川吉宗と室鳩巢『駿台雑話』―

川平 敏文

その悩み、古典が解決します。

菱岡 憲司

▼令和七年度九州大学国語国文学会総会

並びに研究発表会のお知らせ

令和七年度九州大学国語国文学会を、令和七（二〇二五）年六月七日（土）に、九州大学伊都キャンパスにて開催いたします。多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

研究発表をご希望の方は、発表題目を令和七年三月三十一日までに九州大学国語国文学会までお申し出下さい。お申し込みは、郵送またはメール (japano@lit.kyushu-u.ac.jp) に承ります。

研究発表題目、および開催方法などの詳細につきましては、令和七年四月下旬にあらためてお知らせいたします。

『語文研究』投稿規定

一・投稿資格

著者は、九州大学国語国文学会会員に限りまゝ。共著の場合は、筆頭著者が会員であれば投稿できます。

ただし、編集委員会からの原稿の依頼は、非会員に対しても行うことができます。

二・投稿原稿の内容

日本語学・日本文学とその関連領域に関する、未公刊でオリジナルな原稿に限ります。単行本、学会誌・協会誌、紀要、商業誌などに発表されたもの、および応募中のものは投稿できません。

学会や研究会の予稿集、科学研究費補助金などの研究報告書に掲載されたもの、ならびに、未公刊の修士論文・博士論文の一部など（機関リポジトリなどでweb公開されているものも含む）は、その旨を記載し、相応の加筆・修正を行えば投稿できます。

三・投稿原稿の書式・分量

本誌は縦組みを主体とします。仕上がり紙面は、縦書き「二七字×二二行×二段」、横書き「三五字×三三行」です。分量は、仕上がり紙面一四ページ程度（図表なども含む）

とします。

四・投稿の締め切り

締め切りは、毎年二月末日、八月末日とします。刊行は、六月および一二月の予定です。

五・投稿の方法

投稿原稿と要旨（八〇〇字程度）の電子ファイルを、編集委員会宛にメール添付にて提出してください。

六・原稿の送り先および問い合わせ先

e-mail: japano@itkyushu-u.ac.jp

九州大学国語国文学研究室内『語文研究』編集委員会

七・採用・不採用の決定

投稿された原稿の採否は、編集委員会の総意により決定します。

八・原稿料・抜き刷り

掲載論文につき、原稿料は支払われません。本誌二冊を贈呈し、希望者には抜き刷りを実費で作成します。

九・著作権

著作権は、著者に帰属するものとします。ただし、学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとします。

〒八一九一〇三九五

福岡市西区元岡七四四 E1B1六一四

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax: 〇九二一八〇二一五〇八五)

ホームページアドレス

<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~japano/index.html>

(研究室のメールアドレスも記していますので、学会
関係・住所変更等の各種連絡にも御利用下さい。)

語文研究刊行会

振替口座 〇一七六〇一二一二一三四六